

記入日 2020 年 11 月 21 日

一般社団法人日本薬学生連盟

2021 年度執行部立候補申請書

立候補者氏名	原田 紘行
立候補する役職	会長
大学/学部/学科	立命館大学/薬学部/薬学科
学年	3 年生
所属	公衆衛生委員会/財務部/交換留学委員会/関西支部
日本薬学生連盟での活動経歴	2018 年 公衆衛生委員会、交換留学委員会 所属 2019 年 公衆衛生委員会、財務部、公衆衛生委員会、関西支部所属 公衆衛生委員会関西地域リーダー 2020 年 公衆衛生委員会、財務部、公衆衛生委員会、関西支部所属 公衆衛生委員長
立候補動機	日本薬学生連盟は約 20 年という長い歴史の中で、本当に今の時代に合っているのだろうかという習慣も残っています。そんな日本薬学生連盟を今の時代、今の薬学生に合った団体に変えたいと考え立候補しました。
問題点と改善案	<p>問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会員の減少(特に高学年)。 ②団体間の繋がりや社会人との繋がりを十分に活かせていない。会員に還元出来ていない。 ③団体の資金の流れが分かりにくい ④活発的な部署とそうでない部署との差が大きい ⑤「対外あり」の企画書提出期限がイベント日よりも早すぎる。 <p>改善案</p> <ul style="list-style-type: none"> ①協力団体とのコラボイベントの実施や連携を強化。協力団体を増やす。企業や薬剤師さんをお呼びし講演会の開催。就活系イベントの実施。 ②外部系の部門に各部署の長から問い合わせをしやすい体制を作る。 ③イベントなどの資金はどこから来ているのか明白にする。協賛頂いた企業には何に利用したのか年度の最後に伝える。 ④活発でない部署の長には相談役や、コンテンツの提案などをする。 ⑤「対外あり」の企画書の期限を遅くする。
活動計画	<p>2021 年度の方針を明確にする。 Kick off までにすぐに動き出せるよう準備をする。</p> <p>通年 月例ミーティング 各部署のサポート 他団体等との連携強化 問題点の改善</p>

所信

日本薬学生連盟(以下「薬連」という)のスタッフには誰かの殻を割る存在になって欲しいと思っています。
つまり、多くの薬学生が自分の大学という殻に閉じこもっています。
そして、薬連に入っている学生も薬連という殻に閉じこもる会員が多いです。これは薬連だけでなく、他団体でも同様の事が言えます。
自分の大学の殻に閉じこもっている薬学生の殻を割るコンテンツの一部に、協力団体との連携強化や講演会、就活系イベントの実施を考えています。
オンラインも普及し、オンラインが普及するまでなら薬連に入っても知り合う事が無かったかもしれない人たちと知り合う事が容易になっています。他大学や他学部、社会人といった人たちと知り合う事で、どれだけ小さくても新たな世界(殻の外)が必ず見えてきます。
これだけ大きな団体でさらに多くの団体、社会人との繋がりがあるこの薬連を「薬学生のプラットフォーム」として利用して欲しいなど考えています。

※本申請書の記入については、下記の条件を遵守してください(提出時はこの 5 行を必ず削除すること)

- ・フォントサイズ : 8
- ・フォント : MS Pゴシック
- ・A4 サイズ2枚以内
- ・必ず PDF にして提出すること